



短期間で使用するパスワードの
作成・取得と配布から廃棄までの一貫した管理

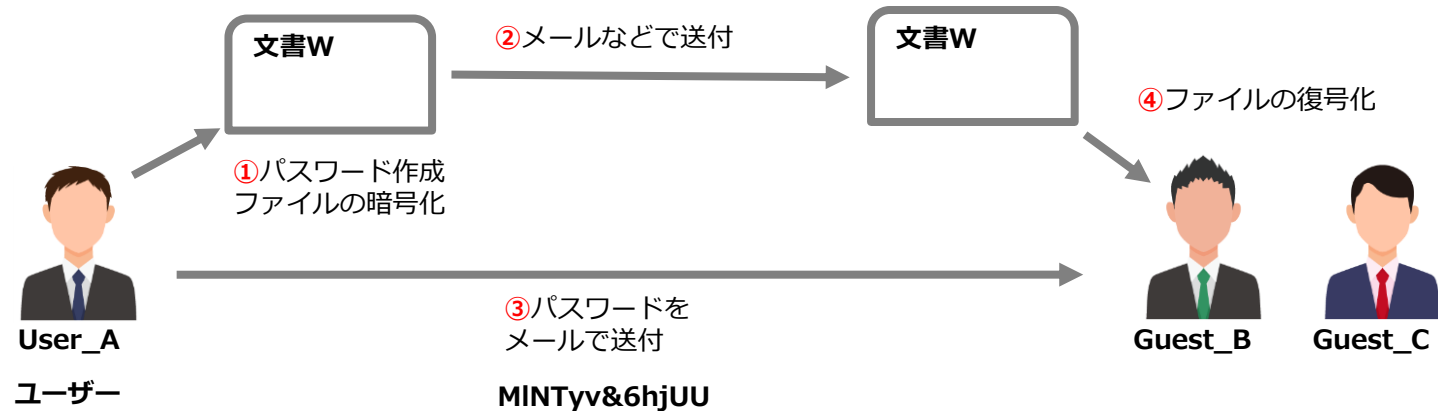
まえがき

- DocPassは短期間で使用するパスワードの作成から廃棄まで一貫した管理をするツールです。
- 例えば、メールの添付ファイルに暗号化を施して送信し、続くメールでパスワードを送る。といった運用がありますが、DocPassはこのようなメールで二重に配信されている暗号化したファイルのパスワード管理を、成るべく作業の手間をかけずに、もう少し安全性の高いセキュリティをかける工夫をしたものです。

- (以下、単に「パスワード」という場合はファイルの暗号化のパスワード意味します。)

暗号化したファイルをメールで送る

- 暗号化したファイルをメールで送り、パスワードを次のメールで送る。

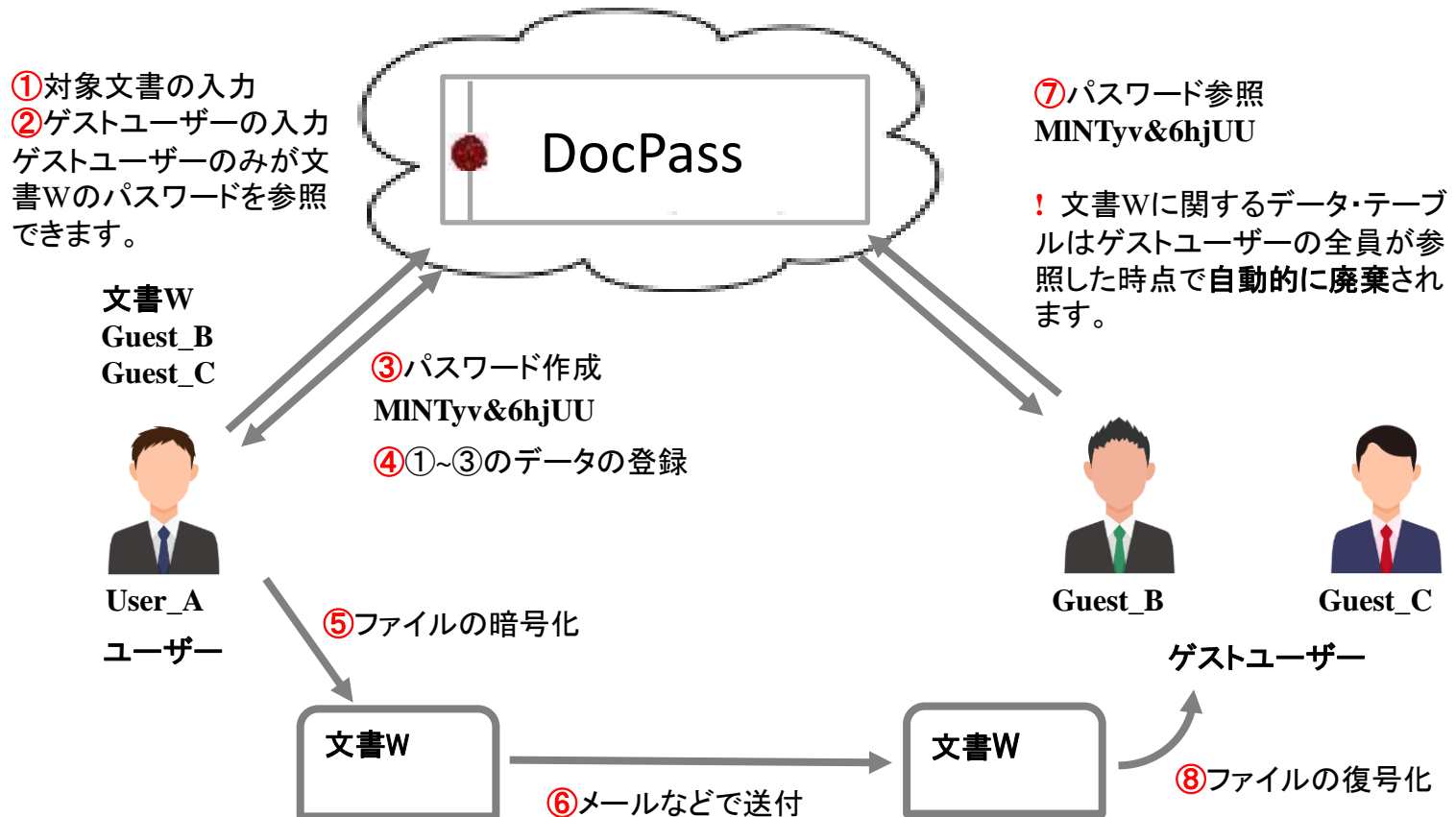


DocPassのセキュリティ機能

- 暗号化されたファイルとパスワードは別ルート／別管理とすることでより安全になります。
- 使用後のパスワードはゲストユーザーの全員が参照した時点で自動的に廃棄されます。暗号化のパスワードの作成～廃棄までのライフサイクル管理を行います。
- ユーザーID、パスワード、ゲストユーザー（受信専用）IDはルールによって異なる運用にすることができます。メールアドレスや前月の請求書番号などです。
- パスワードは英字の大文字／小文字、数字、記号から成る最大20桁までのものを自動的に作成します。または、ユーザーの作成したパスワードを使用することもできます。
- 送信元のユーザーは送信先のゲストユーザーのパスワード取得状態をモニタリングできます。

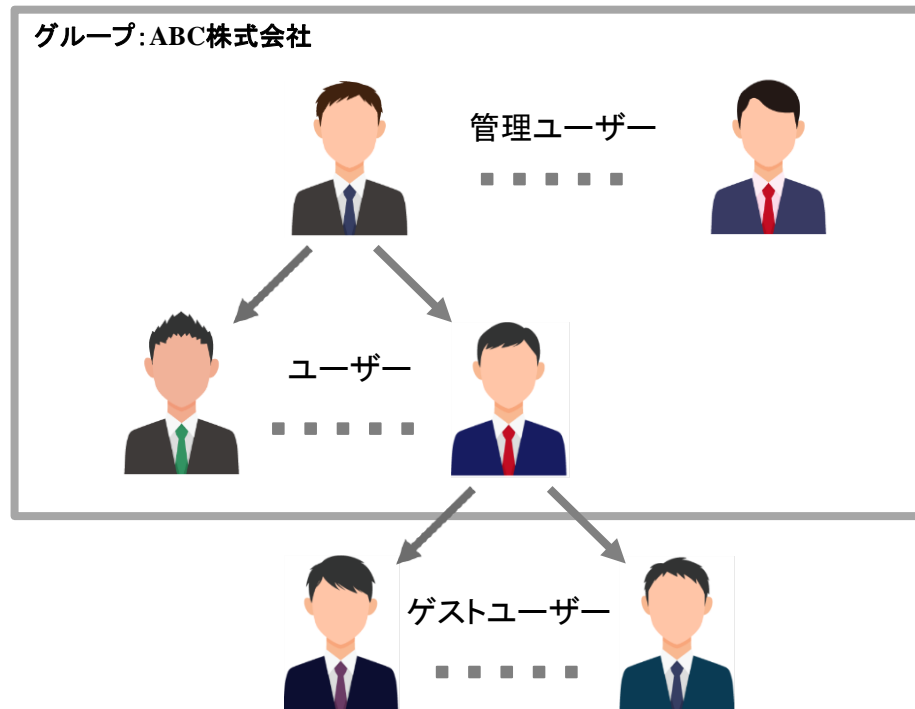
DocPassの仕組み

- DocPassは短時間で使用するパスワードの作成から廃棄までを管理するツールです。



アカウント管理

- 1つのグループには複数の管理ユーザーを登録できます。
- それぞれの管理ユーザーは最大10名のユーザーを登録できます。
- ユーザーは1度の配信で最大10名のゲストユーザーを登録できます。（ゲストユーザーは一時的な登録で、パスワードの廃棄の時点で同時に廃棄されます）



ユーザーIDをメールアドレスとした運用例

- 便利的にユーザーIDをメールアドレスとした場合の例です。

